※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 325 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代国語演習 B | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 副読本を使用 | | | | | | |
| 副教材等 | ロジック現代文私大過去問題演習（桐原書店）<br>読解現代文必携キーワードの卵（尚文出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集の問題を自分で解いてみましょう。また、自分で答え合わせをしていき、どの部分の理解が十分できていて、どの部分の理解が不十分なのか確かめる大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識・技能】近代以降の様々な文章を読むことによって、生涯にわたる社会生活に必要な国語について的確に理解することができる。

【思考・判断・表現】他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを適切に表現する能力を高める。また、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 | 「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 評論及び随筆<br>［教材］<br>日本のデザイン　原研哉ほか | a:教材の読み方を習得する。用語を理解する。<br>b:［読］教材の内容を的確に読み取る。理由づけの適切さを吟味する。<br>［書］教材から読み取った内容を文章化する。<br>c:進んで教材読解に努め、独自の考えを文章化しようとしている。 | ノート点検<br>小テスト<br>定期考査 | 定期考査<br>行動の観察<br>記述の確認 | 行動の観察<br>記述の確認 |
| 二学期 | 評論及び随筆<br>［教材］<br>恋愛及び色情　谷崎潤一郎ほか | a:教材の読み方を習得する。用語を理解する。<br>b:［読］教材の内容を的確に読み取る。理由づけの適切さを吟味する。<br>［書］教材から読み取った内容を文章化する。<br>c:進んで教材読解に努め、独自の考えを文章化しようとしている。 | ノート点検<br>小テスト<br>定期考査 | 定期考査<br>行動の観察<br>記述の確認 | 行動の観察<br>記述の確認 |
| 三学期 | 評論及び随筆<br>［教材］<br>社会美学への招待　宮原浩二郎・藤阪新吾ほか | a:教材の読み方を習得する。用語を理解する。<br>b:［読］教材の内容を的確に読み取る。理由づけの適切さを吟味する。<br>［書］教材から読み取った内容を文章化する。<br>c:進んで教材読解に努め、独自の考えを文章化しようとしている。 | ノート点検<br>小テスト<br>定期考査 | 定期考査<br>行動の観察<br>記述の確認 | 行動の観察<br>記述の確認 |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５～２０　）時間

・読むこと　…　（　４５～５０　）時間